

日野市在宅療養体制構築のための基本方針 の進捗状況（令和2年度実績）【補足資料】

- ・令和元年～6年までの6年間の計画期間の2年目
- ・6つの施策の方向性と31の施策項目（左端数字が各方向性の施策項目の番号）

・施策の方向性1「医療機関の特徴や相談窓口の見える化」

概ね達成

- 1 ガイドブック（導入イメージ紹介編）の作成
- 2 イベントの代替として、周知啓発用動画の作成
- 4 高齢福祉課とエンディングノート作成に向けた検討

・施策の方向性2「患者やその家族の精神的・肉体的な負担軽減体制」

一部達成

- 1 スーパーバイザーによる事例検討会 年10回 延べ236人の参加
- 4 市立病院患者会のがんカフェに保健師の派遣 4回

・施策の方向性3「患者を中心とした関係機関の意識と情報の共有化」

概ね達成

- 1 医師会との協定締結 協定に基づき災害医療体制の検討やフレイル予防への対応
- 2 市立病院と地域との連携ルールの協議・検討開始
- 3 MCS（メディカルケアステーション）の導入支援（ケアマネ協議会、在宅介護事業者協議会、栄養士会、歯科医会など）、及びルールと運用ポリシー案の作成
- 6 市立病院の認定看護師と地域の連携支援（オンライン講演会の実施）

・施策の方向性4「在宅療養環境のバランスを考慮したコーディネート」

一部達成

- 1・3 連携支援センターの開設に向け、在宅療養支援課の保健師が市内外病院や関係機関との連携構築
→（仮）在宅療養サポートチーム（現状は在宅療養支援課 保健師が対応）
- 5 まちの在宅医療相談会 市内在宅医2名とコラボ 6回 11名参加（年8回予定）

・施策の方向性5「退院・退所時に安心できる相談支援体制の整備」

一部達成

- 1・3 連携支援センターの開設に向け、在宅療養支援課の保健師が市内外病院や関係機関との連携構築【再掲】
→（仮）在宅療養サポートチーム（現状は在宅療養支援課 保健師が対応）

・施策の方向性6「在宅療養の利用状況等のデータ集積に取り組みます」

未達成・未着手

- 1 事業所等におけるオンライン活用支援（ZOOMの活用、MCS導入支援）